



# 第60番・横峰寺への道 よこみねじ

負ひ衣はいつとなくしほたれて四国の辺路をぞ常に踏む。」と記され、また「今昔ものがたりしゅう物語集」にも、四国の辺地、海辺を廻る様子が記されています。

高い山が有れば登り、海辺を廻り、海のかなた彼方の観音淨土を想う、これが四国遍路に通じる心であります。

四国遍路の歴史には多数の先達が居られ、お大師様の修行の心を拠めて来られま

A photograph of a traditional Japanese shrine, identified as Fudo-ji. The shrine features a wooden structure with a distinctive wavy-tiled roof. A dark blue banner hangs across the entrance, displaying the characters '納奉' (Nōfō). A person wearing a white shirt and red pants stands near the entrance. The surrounding area is lush with green trees and foliage.

直念庵

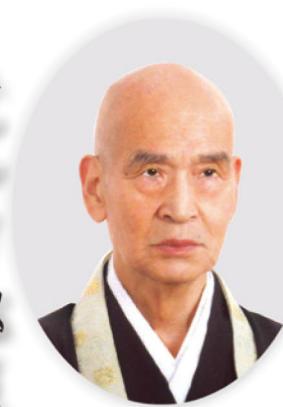
庵は三年前、地元の人と篤志家に寄り改築されました。

眞念さんのお墓は第  
八十六番・志度寺の道中、塩屋の道路沿  
いにありましたが、今は八栗寺の登り口、  
洲崎寺にお祀りされています。

眞念さんは今も、四国遍路をする者を導  
いてくれています。

著の便をばかりました  
私も五十五年前の遍  
路の時、お通夜させてい  
ただきました。また三原  
村から延光寺に行く道  
には今も真念さんの建  
てた道しるべ石が残つ  
ています。

A portrait of a man with a shaved head, wearing a black Hanbok with a yellow sash, is positioned above a vertical calligraphy piece. Below the portrait is a horizontal calligraphy piece. In the foreground, there is a watercolor painting of a blue hydrangea flower with green leaves.



鮑大師本坊 柳本明善

卷之三

A vertical calligraphy piece in cursive script, featuring large characters and a blue ink seal at the bottom left. The characters read: 畫林子，王維詩。此詩寫於王維被貶至長安附近的一處山林中，詩句描寫了山林的幽美和詩人的心境。

卷之三

四国  
鯖大師だより

発行所  
〒775-0101  
徳島県海部郡海陽町浅川  
鯖大師本坊同行二人会  
電話(0884)73-0743  
FAX(0884)73-3400  
編集人柳本明善  
印刷所(有)前野印刷

A QR code located at the bottom right of the page, which links to the website mentioned in the adjacent text block.

鯖大師本坊の  
携帯サイトです。

四國遍路 中興の祖

真念上人を称える

人んち道の言葉  
愚かと良しただ歩けば、仏も微も

久万への道  
鶴田峠道

鯖大師ホームページ  
URL  
<http://www.sabadaishihonbou.jp>

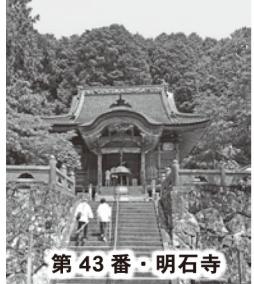


心を洗い、心を磨く



# 歩くお遍路 满足行巡拝 第十六回、パート(4)

令和四年六月十七日より  
令和四年六月二十六日まで



第43番・明石寺

## 読むお遍路

今回の初日は第  
四十二番・仏木寺から  
歯長峠への遍路道を登  
る。平成三十年七月の  
西日本豪雨で被害を受  
けていたが歩く事が出  
来た。

「あげいしさん」と親しまれている。

第四十三番・明石寺は西予市宇和、土地の人から  
鳥坂峠の遍路道を越えると大洲市、別格第七番・  
出石寺は標高八百m、平野より十四kmの地蔵道を登る。

出石寺の由来は猿師が鹿を射んとしたところ、山が鳴動し地中から千手観音と地藏菩薩が顕れたとの事、境内には鹿の像がある。山上には大伽藍が広がる。



別格第7番・出石寺の道中 鹿と出会う

## 出石寺の由来、鹿と出会う

橋の下で、お大師さまが休まれる、十夜ヶ橋

大洲市内、国道五十六号線の橋の下で休まれているお大師さまを参拝、西日本豪雨に向かって頑張っている。

第四十四番・大宝寺で本堂が被災、今、再建に向かって頑張っている。

第四十五番・大宝寺

までは五十km弱、内子の町から小田川沿いに大瀬、さまだが「今日は良い日和だ」と言われた事に由来する。



別格第9番・文殊院



第47番・八坂寺の山門

久万高原町に入り第四十四番・大宝寺を参拝、杉の巨木に囲まれた豪壮な山門、八十八ヶ所靈場の丁度半分の寺である。

岩屋寺の山号は海岸山

六月二十一日、お大師さまの縁日、雨、宿舎の古岩屋荘より八丁坂を登り陵線道を歩き

第四十五番・岩屋寺、お大師さまは「山高き谷の朝霧海に似て、松吹く風を波にたとえむ」と詠めた。ご本尊は不動明王である。

今に残るへんろ道の一つ、二・六kmの、みさか峠へんろ道を下る

と、第四十六番・淨瑠璃寺、木々の茂った境

内に本堂、大師堂が並び幽玄な雰囲気が漂つ。

第四十七番・八坂寺は近い。また近くには四

山の斜面全体が伽藍の興隆寺、雨の中、本堂までの登りが遠い。別格第十番・生木地蔵は周桑平野の中に入小さくまとまる。

仙遊寺から山の遍路道を下り、第五十九番・国分寺、雨が降り出し本堂の縁側に上り読経をする。

第五十六番・泰山寺を参拝し蒼社川を渡ると第五十七番・榮福寺。榮福寺から第五十八番・仙遊寺には、犬塚池の改修工事で迂回して参拝する。

仙遊寺から山の遍路道を下り、第五十九番・国分

寺、雨が降り出し本堂の縁側に上り読経をする。

第五十四番・延命寺を参拝、ご本尊は不動明王、今治市街に入り大五十六番・南光坊、ご本尊は大通智勝如來という仏様。

第五十五番・泰山寺を参拝し蒼社川を渡ると第五十七番・榮福寺。榮福寺から第五十八番・仙遊寺には、犬塚池の改修工事で迂回して参拝する。

仙遊寺から山の遍路道を下り、第五十九番・国分

寺、雨が降り出し本堂の縁側に上り読経をする。

第五十四番・延命寺を参拝、ご本尊は不動明王、今治市街に入り大五十六番・南光坊、ご本尊は大通智勝如來という仏様。

※代参ご祈願ご希望の方は十一月十日までにお申し出下さい。代参巡拝後ご祈願札をお受け致します。

ご祈願料（一人一願）  
**三千円以上**

第十六回、満足行パート5は、第六十二番・宝寿寺より（別）第十二番・延命寺（別）第十九番・香西寺（第八十三番・一宮寺まで歩いて巡拝致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方歩いてお参りしたくても出来ない方あなたに代わり歩き、お願い事をお願い、ご祈願させていただきます。百八ヶ寺の御宝前でお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

百ハケ寺、百ハ回のご祈願あなたに代わり、歩いて巡拝

令和四年十一月十六日（水）～令和四年十一月二十四日（木）

九日間

四國八十八ヶ所霊場・別格二十霊場



**百ハ煩惱消滅の道  
歩くお遍路  
満足行代参巡拝**

人生即遍路 第16回  
**満足行**  
歩くお遍路  
パート5

※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担。

※参加申し込み〆切日 令和4年10月15日（土） 参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

自分の道を見つけよう、幸せの道を見つけよう！

発心の道場・修行の道場、土佐を歩いて巡拝いたします。  
お大師さまの同行二人のご誓願を身を以て修行する。

参 加 料

**10,000円**

（傷害保険料、涉外費に充当）

車 使用 料

**30,000円**

（宿への送迎、荷物移送）



日時：令和4年11月16日（水）～

11月24日（木）9日間

集合：令和4年11月15日（火）

愛媛県西条市 しこや

巡路：第62番・宝寿寺～

第83番・一宮寺まで（233.3km）

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでご供養下さい。

**一靈 三千円**  
六波羅蜜とは

【智慧】眞実を見る智慧を働かせる  
【布施】他人へ施しすること  
【持戒】戒を守り、反省すること  
【精進】精進努力すること  
【忍辱】不平不満を言わず耐え忍ぶ  
【禪定】心を安定させること

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を（ちゅうにち）とし前後の三日間を合わせた七日間を言います。この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとり」の境地であり、「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え（六波羅蜜）を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

**秋の彼岸・ご供養のお勧め**

仏教では苦しみの根源、迷いや煩悩を「無明・むみょう」と言います。炎は不淨を燃やし魔を除き淨化して清める働きをします。光明は人が煩悩の暗闇から脱却するための道を明るく照らし、仏の智慧と救いを現します。この献灯を供えることが明かりを頼りに現世の私達のもとへ導かれ、智慧を以て悟りを得る手助けとなります。

令和五年度  
**壹ヶ年間「月命日」献灯（壹万円）**

**誠燈供養**

無明を照らす光明  
ご先祖さまを現世を結ぶ禁ヶ橋

護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm 重さ8kg



## 永代ご祈願大不動明王

令和三年十二月一日より  
令和四年六月三十日までに奉納祈願された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。

(敬称略)



## 護摩堂奉安祈願

大阪府 花岡由裕 悟

お不動様のお力に  
おさがりして  
あまねく悪を退け

本当の幸福という名の  
功德をつかんで  
頂きたいのです

# 大不動明王

令和三年十二月一日より  
令和四年六月三十日までに奉納祈願された方です。

(敬称略)

宮城県 伊藤泰子

## 千体地蔵尊奉納願主 ご芳名



佐賀県 佐桑原高士

愛知県 平井葉子  
宮城県 秋田県 伊藤喜壽雄  
宮城県 三浦彰裕

## 不動明王・地蔵尊 ご淨財ご芳名 (一万円以上)

令和三年十二月一日より  
令和四年六月三十日までにお花代、お供えとして奉納された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。

(敬称略)



奉安ご祈願・千体地蔵尊

## 千体地蔵尊奉安ご祈願料

五百円

※石刻印一文字

※奉安・ご祈願の方は  
お申し出下さい。

ご先祖・法名、あなたのお願いすることを地蔵尊石仏に刻印。  
鯖大師本坊境内、水琴水掛地蔵尊の並びに奉安。永代にご祈願。

# 千体地蔵尊奉安ご祈願のお勧め

宮城県丹治はるみ  
神奈川県渥美仁孝  
静岡県磯口みゆき  
佐賀県桑原高士  
佐賀県光武信二

令和三年十二月一日より令和四年六月三十日までに奉納祈願された方です。(敬称略)

## 白衣觀音奉納 願主ご芳名

私を苦しみから  
救い尊く化  
觀音さまに願いを  
一願一体  
三萬円



願主  
徳島県  
山田 太郎

# 三十三觀音靈場永代奉安

# 白衣觀世音菩薩

毎月、十八日	毎月、二十一日	毎月、二十四日	毎月、二十八日
観世音菩薩・御縁日	お大師さん・御縁日	地蔵菩薩・御縁日	不動明王・御縁日

毎月各尊、御縁日には精進供をお供えして梵唱を唱え  
御縁日法事を厳修します。

※都合によりお勤め時間が変更になる場合もあります。

ご病気の方の快復を願い、子宝、出産、試験等の諸願成就のため、亡くなられた方の慰靈鎮魂の為、様々な願いを鶴に込めて願いを成就下さい。

千枚・千八百円 (荷具送料別途)

## 般若心経折り紙

仏事務所・般若心経折り紙

右記の数は、平成二十五年十一月三日より令和四年六月三十日までの累計です。

奉納折鶴 二、七九二羽

鶴大師では皆様の願い、壹萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に願いを込めて折つて戴いた鶴「壹萬羽鶴」のご奉納祈願を発願致しました。皆様の願いを多宝塔の觀音さまにお供えし、飛天さんに天空へと届けて戴きます。「お願い事、お名前を書き、一折り、一折りに想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」

一羽・千円

# 壹萬羽鶴

鶴大師・多宝塔





## お盆供養のご案内

八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源はご先祖さまです。  
みなもと

このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって  
今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。

命の源、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。  
みなもと

ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。



※色紙は手書きのため、一ヶ月程お時間をいただきます。



一願 三千円

令和五年（2023年）はお大師さまが御誕生されて一二五〇年の記念となります。別格靈場では各寺院、お大師さまにまつわる物語の特別御朱印をお授けしています。鯖大師では記念として特別御朱印と手書きの干支護り本尊梵字色紙にお名前を入れ御祈念後にお大師さま身代り御守をお授け致します。

**特別御朱印・干支の護り本尊  
梵字色紙、お大師さま肌守り**

お大師さま御誕生一二五〇年記念

進物用  
3,800円  
徳用  
1,800円  
小箱  
900円  
合掌

良いお香を焚き、亡くなられた方にお供えするのは、お盆やお彼岸で帰られたご先祖さまへの最高のおもてなしです。特別な日には、故人を敬い良質なお香を焚き大切な方をお出迎え下さい。

